

秋の空に打ち上げる水戸の花火
「心の洗濯」をしてほしい



野村花火工業
野村陽一さん

うに、遊び心を大事にしています。」プログラムのストーリー性や、音楽とのシンクロにも注目です。

3年ぶりに開催する「水戸偕楽園花火大会」。花火師が懸ける想いもひとしおです。水戸で130年以上続く花火製造会社、野村花火工業4代目の野村陽一さんは、「地元、水戸をパッと照らせるような花火を打ち上げます。明るく元気にいきたいですね」と意気込みます。

花火の質の高さはもちろん、その魅せ方にもこだわる野村さん。観客に最大限楽しんでもらおうと考え抜かれたプログラムには、見どころが満載です。オリジナルの花火や、オシャレな花火：「次はどんな花火が上がるかな、と思ってもらえるよ

秋の空は空気が乾燥しているので、花火の光が鮮明に見える、音も澄んで聞こえます。心にも響く打ち上げ花火。一発一発に想いを込めて、力強く打ち上げます。

問合せ／水戸観光コンベンション協会(☎224-0441)
または市観光課(☎232-9189)

水戸黄門まつり公式ホームページ(<https://mitokoumon.com/koumon>)はこちら▶



山車巡行

飾り付けられた山車が、まつり囃子で盛り上げながら会場を巡行します。



平松良崇さん (山車部会長)

熱気を肌で感じてほしい

今年は、例年より近い場所から山車を見ることができます。山車の存在感を、音の振動を、全身で感じてください。

オータムドリームフェスタ

遊戯ブースや「はたらくくるま」の展示、飲食ブースなどで、会場を盛り上げます。



田中秀弥さん (オータムドリームフェスタ部会長)

子どもたちに思い出と夢をまつりのない2年間、寂しい思いをさせた子どもたちに、笑顔で楽しんでほしいです。ぜひお越しください。

神輿連合渡御

水戸周辺の神輿が一堂に会して、会場内を勇壮に練り歩きます。



樫村和美さん (神輿連合渡御部会長)

気持ちを一つに担ぐ

昔から、義理と人情でつないできた神輿の渡御。重いものをみんなで担ぐという、熱い伝統を未来に残したいです。

水戸黄門カーニバル

市内の企業などが、「黄門ばやし」などに合わせ、趣向を凝らしたダンスで競います。



草野貴博さん (水戸黄門カーニバル部会長)

リアルなまつりをつなぐ
続けることに意味があります。リモートではない、リアルなまつりを多くの人に知ってほしいです。

通行止・立入禁止の区間にご注意ください

今年は、会場の一部に有料観覧席を設けます。有料観覧席を設置するエリアに入場できるのは、チケット購入者のみです。ご注意ください。また、花火打ち上げに伴う危険区域も通行止・立入禁止となります。
※有料観覧席のチケットの販売は、定数になり次第終了します。価格や購入方法など、詳細は、水戸黄門まつり公式ホームページをご覧ください。

▼有料観覧席の設置場所と通行止・立入禁止の区域



水戸偕楽園花火大会

期日／10月22日(土)
時間／午後6時30分～7時30分
※荒天中止。
会場／千波湖

伝統と文化を未来へ
熱い想いがここにある。

水戸黄門まつり本祭

期日／11月5日(土)
時間／午前10時～午後7時
※荒天中止。
会場／県三の丸庁舎広場ほか



水戸黄門まつりのこれから

1961年、「水戸の七夕黄門まつり」として始まり、1992年の名称変更を経て、長い間、市民の皆さんに愛されてきた「水戸黄門まつり」。市内外のより多くの方に楽しんでほしいと2019年にリニューアルし、日本最大級のふるさと神輿渡御や、水戸黄門提灯行列を開催しました。その矢先、新型コロナウイルス感染症の影響で、2020・2021年は中止。まつりの熱をつなぐと、オンラインで「Remote 水戸黄門まつり」を開催しました。

そして、2022年。第62回水戸黄門まつりは、感染症対策と熱中症対策の両立のため、秋の開催となりました。まだ、完全復活とは言えませんが、熱い想いがある限り、これからも水戸黄門まつりの歴史は続いていきます。



第1回水戸の七夕黄門まつり (1961年)



ふるさと神輿渡御 (2019年)



水戸黄門提灯行列 (2019年)